



辻川だより

ホームページ



https://village6567.com/

第71号 [2024-IV号] 令和7年3月8日 辻川区自治会 発行
辻川公民館 〒679-2204 福崎町西田原 1228-2 TEL 0790-22-5763

年度末に思うこと

区長 田崎 正和

令和7年度は2年任期の区長・協議員の改選年になります。辻川区には2月現在、被選挙権（選挙される権利）者が男女の別なく区長で45名、協議員で39名居られます。身近に多様で多才な人材が揃っているにもかかわらず、選挙にはフルネームが必要な為、どうしても一部の人が票が偏る傾向がありました。そこでこの度の選出では被選挙人名簿開示請求に対応することになりました。3月22日・23日には公民館まで姓名を確かめに来てください。詳細は回覧でお知らせします。

さて、この2年間を振り返ってみると、ちょうど私たち現役員が就任した令和5年5月からコロナが5類対応に移行し、自治会活動も個人の判断に委ねられるようになりました。とはいえ3年間のブランクは大きく、地域のつながりが希薄になった感が否めませんでした。例えば、お悔みの放送が途絶えた。子ども会の球技大会がなくなった。泥上げもされずに放置されたままの水路が目立つ。公民館掃除が隣保長のみでの隣保も…。でも光は見えてきました。昨年11月の総合防災訓練や同12月の子ども会老人会合同の鈴の森神社掃除では大勢の小学生とその保護者の参加で会場が明るく元氣になりました。

今年度の隣保長さんは22名全員の姓が異なります。22隣保を始めとして辻川は子どもが増えています（現小学生95名）。皆が住んで良かったと思える新しい地域づくりは一緒に就いたばかりかもしれません。

協議員会は今

- 12〜2月の協議員会での報告・検討内容を一部紹介します。
- ① 総合自主防災訓練ふり返り
- ② 辻川区内要望書確認
- ③ 新公民館建設予定地決定等
- ④ 自治会費・事業所協力金等
- ⑤ 12・16隣保放送支柱移設
- ⑥ グランドゴルフ大会について
- ⑦ 令和7年度総会・役員改選
- ⑧ 屋台修理補助金申請について
- ⑨ 旧屋台伊達網処分について

【お知らせ】

- 今年度予定されていた10隣保地蔵堂近くに消火栓と8隣保辻川北交差点に防犯カメラ、そして辻川山公園に河次郎滑り台の各新設（全て町事業）は年度末3月の工事になります。
- 2月13日現在、現公民館地の相続人全員の確定にはまだ至っていない（大野偉貴司法書士）とのことです。次年度の所有権移転作業や新公民館地購入に向けての不動産屋（鑑定士）との契約等は今のところ未定です。
- 辻川山山頂南側の展望が数年ぶりに開けました（町事業）。また有井堂のサザンカも久しぶりに強剪定（合わせて昔の木製放送支柱の撤去と白蟻被害のお堂上り框取替えも）実施（区事業）。この高さなら区民でも今後管理できそうです（下写真）。

当面の予定

- ◇3月9日（日）第4回グランドゴルフ大会
- ◇4月5日（土）民俗辻広場まつり（共催参加）
- ◇4月27日（日）辻川区総会
- ◇5月10日（土）新隣保長・各種団体役員会議
- ◇5月18日（日）溝普請



事業報告

- ◆12月7日（土）隣保長・各種団体役員会議
 - ① 辻川区内要望確認
 - ② 自治会費徴収について
 - ③ 新公民館建設予定地決定
 - ④ 現公民館地の相続人調査状況
 - ⑤ 総合自主防災訓練ふり返り
 - ⑥ 辻川だより第70号発行
 - ◆2月23日（日）消火栓訓練
- 区内を5つに分けて消防団指導の下、消火栓放水訓練を実施。各ブロック10名前後が参加。身体が覚えるためには訓練を繰り返すしかない。「習うより慣れろ」ですね。

祭礼行事の報告

◆1月1日〜3日 正月祭り
宮当番5隣保によると1月のお賽銭は5万円以上あったそうだ。ちなみに我が家の初詣コースは、有井堂→鈴の森神社→恵美酒社→愛宕社→山口堂・脇堂→地蔵堂→高藤稲荷社。お賽銭はそれなり...

グランドゴルフをしませんか！
会員大募集中です「現会員67名、89歳13名（内男性5名）」
活動日時：火曜日・金曜日
9時〜10時30分
活動場所：小学校北グランド
辻川グランドゴルフ同好会代表（木中公子氏）まで連絡を。

◆1月12日(日) 冬えびす

最低気温 -0.5℃の比較的暖かな朝は消防団の出初式から始まった。辻川区では最近では神事の重なる日に。平安と商売繁盛を祈願した。その後、



冬えびす

合格祈願祭

昨年から中学PTA主催に戻った合格祈願祭。辻川では絵馬掛けができた平成12年より前から行われていたよつだ。受験生の名と保護者が参列。そして午後4時から、



合格祈願祭

とんど

本来は15日小正月の行事。正月飾りを燃やし正月様の送り火に。5隣保の皆さん、一年間宮当番ご苦労様でした。



とんど(高藤稲荷)

◆2月2日(日) 節分年越祭

節分は立春の前日、古くは立春から新年が始まると考えられていた。辻川区の宮当番交代も曆に倣うものに。最近では境内の木々が枝を張り歳灯の炎を大きくできないため警

備の消防団員も少々手持無沙汰な様子。でも大切な年中行事。6隣保の皆さん、一年間よろしくお願ひします。



歳灯(鈴の森神社)

◆2月9日(日) 初午祭

前日の雪が日陰に少し残る中、五穀豊穡や商売繁盛を祈願した。150年前に國男少年が遊んだお稲荷さんは、今は本殿覆いの中の小堂のようだ。厄除け鳥居の奉納は戦前からあったが木製の為朽ち果て、今は昭和51年以降奉納の主として鉄製の鳥居が並び。子ども相撲は今年も取りやめに。



手作りの絵馬



絵馬の焼印

鈴の森神社の絵馬は辻川商工会から年間約100枚寄進されている。それが1枚300円のお賽銭に。只々感謝



紐・鈴付け

私の昭和の時代(第5話) 辻川むかし話『辻川山のきつねね』

田尻出身の松岡博幸氏が祖父幸太郎(幸やん)1885年生まれ)やその妹のたきから聞いた伝承をまとめた『尾先白右衛門』から辻川に関する箇所を引用し、文意を損なわない程度に簡略化して紹介する(傍線は播州弁?)。



出典:福崎むかし話「尾先白右衛門」

①「尾先白右衛門」

明治の中頃、田尻村に尾先白右衛門というしっぽの先が白い狐(けつね)がおったそうだ。ある日、桶屋の幸やんは大買での法事の帰りに、遅くなった夜道を提灯も持たずに田尻の我が家へと急いでいた。ところがふと気づいたら、もうとっくに家に着いてもええ頃やのにいっこうに着かない。「なんどいやひよっとしてあいつに騙されどるんどちやうか」と、道端の大きな石に腰かけてキセルの煙草に火をつけた。狐のきらいな煙が漂うと、いつの間にか立ち込めていた闇がすうーと晴れた。

なんのこつちやない辻川山のてっぺんにこつちを向いて座っている尾先白右衛門がおったそうだ。ばれているとも知らず、しっぽを右へ、左へと大きく振っている。どうやらそのたびに幸やんは同じ所を行ったり来たりし、いつまでたっても家に帰ることが出来なかつたそうな...

②「名医 八十島先生」

昔、辻川村に両端がピンと上がった立派なひげを生やしたかくしゃくとした八十島先生が住んで居た。ある夜半、「先生、難産で苦しんでいる妻をどうかお助けください。馬で迎えに来たので早く！」と雨戸を叩く音と声が出た。八十島先生は男の申し出を快く引き受け、その馬に乗り往診に出かけた。暗い夜道を男の下げた提灯の明かりを頼りに、枡屋の前を通り、堰溝に沿って地藏堂の方へ行き、細い路地をいくつも抜けてやっと門構えの立派な家にたどり着いた。家では若い女がたいそう苦しんでいたが、先生の手当の甲斐があつて無事に立派な男の子が生まれた。主人も妻も大喜びで、先生は風呂敷包みいっぱいのお礼やお土産をもらつて、馬で自宅まで送つてもらつたそうだ。翌朝、寝覚めの悪かつた八十島先生は昨夜のことを思い出さうとするがどうもおかしい。小さ

な村の事なので大抵の人の顔や名前がわかるが、昨夜の男は見覚えがない。またあんな細い路地もあんな立派な家も記憶にない。そこで八十島先生は昨夜もらつた土産を思い出し風呂敷包みを開けてびっくり。よおいわんわ、色とりどりの木の葉や木の実がぎょうさん出てきたそうな...

第5話◎『辻川山のきつねね狩り』は次号で紹介します。

「参考引用文献」 福崎むかし話『尾先白右衛門』松岡博幸(2007) 福崎町の伝承民話(二)『尾先白右衛門』松岡博幸(未発表)

編集後記

登記所跡の花壇に植えたチューリップの芽が、2月初め顔を出し始めました。些細なことですがとてもうれしかったです。 また、北海道旭川の方が「辻川だより」を楽しみにされていると聞きました。「辻川区ホームページ」及び「辻川だより」の作成編集を担当しているものとして、勇気をいただきました。年四回の発行ですが、現在の辻川区の情報を的確に発信していきたいものです。そして、「柳田民俗学のふるさと」としての継承と工夫：共に模索していきたいですね。 (吉田 和司)